

# ウルボン1275の重ね継手

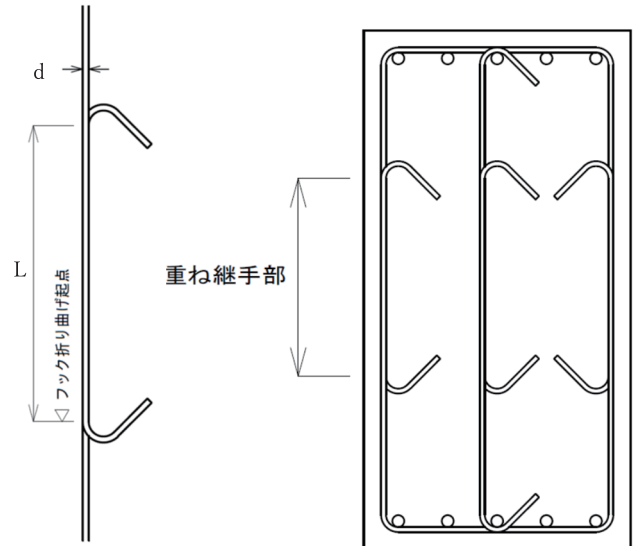
ウルボン1275の重ね継手の性能証明を（一財）日本建築総合試験所にて取得しました。

【取得日2019年7月29日：取得番号 GBRC 性能証明 第19-06号】

## ●重ね継手長さ

コンクリート設計基準強度	重ね継手長さ(L)
$24\text{N/mm}^2 \leq F_c < 30\text{N/mm}^2$	50d
$30\text{N/mm}^2 \leq F_c < 39\text{N/mm}^2$	45d
$39\text{N/mm}^2 \leq F_c < 51\text{N/mm}^2$	40d
$51\text{N/mm}^2 \leq F_c \leq 60\text{N/mm}^2$	35d

d：鉄筋径でウルボン1275の呼び名



## ●本評定の特徴

- (1) 重ね継手したウルボン1275の長期許容応力度および短期許容応力度は、重ね継手試験および材料認定（MSRB-0109）に基づいて、それぞれ195N/mm<sup>2</sup>、590N/mm<sup>2</sup>（短期許容せん断力は当面585N/mm<sup>2</sup>にて算定）としました。また、ウルボン1275の基準強度は1275N/mm<sup>2</sup>ですが、重ね継手した場合の終局設計用材料強度は、重ね継手試験結果に基づいて785N/mm<sup>2</sup>としました。
- (2) ウルボン1275の重ね継手を用いることができる線径は、加工設備の都合上、U12.6のみとなります。
- (3) 「損傷制御のための短期許容せん断力の算定式」はウルボン1275の評定上、重ね継手では適用不可となります。

## ●構造細則

- (1) フック先端のあき  
同一断面内におけるフック先端のあき寸法は、①25mm、②粗骨材の最大寸法の1.25倍、③鉄筋の呼び名の1.5倍のうち最大の数値以上とする。
- (2) 最小かぶり厚さ  
せん断補強筋の最小かぶり厚さは50mm以上とする。
- (3) せん断補強筋の間隔  
せん断補強筋の間隔は、鉄筋の呼び名の数値の6倍以上とする。

## ●算定ソフト

ユニオンシステム社のSS7に2020年6月頃リリース予定。

## ●ウルボン1275の重ね継手の適用範囲

- ① 一次設計用地震力によるせん断力の割増しを設計ルート1の場合は1.5以上、設計ルート2の場合は2.0以上として算定される曲げモーメントに対して曲げ降伏しない事が確認された場合。
- ② 設計ルート3で曲げ降伏しないことが確認された場合。
- ③ 終局設計用の材料強度を785N/mm<sup>2</sup>で頭打ちした場合。



本社/建材営業課 …… 東京都品川区東五反田2-17-1 オーバルコート大崎マークウエスト16階  
TEL.03(3443)5445 FAX.03(5488)7538

大阪営業所 …… 大阪府大阪市北区天神橋2-3-8 MF南森町ビル2階  
TEL.06(6353)7110 FAX.06(6353)7124